

委員会だより

事務局：教育委員会事務局学校計画課
(671-3252)
青葉区役所地域振興課
(978-2469)

青葉区黒須田地区等通学区域調整等委員会の第4回目の部会が、平成17年2月25日に開かれました。今回は、第一・第二合同部会においては、黒須田小が関係する中学校の通学区域について、また、第三部会においては、主に山内小の通学区域について引き続き検討しました。

新設校の名称は「黒須田小」と正式決定

新設校の名称については、第一部会で決定した校名案を踏まえ、横浜市立学校条例の一部改正の議案を平成17年第1回市会定例会に提出し、平成17年2月23日の市会本会議において可決されました。これにより新設校の名称は、「横浜市立黒須田小学校」と正式決定されました。

黒須田小に係る中学校通学区域

A案支持5割、B案支持4割 - あざみ野第二小PTAアンケート結果 -

前回の部会后、あざみ野第二小PTAが同校保護者に対して中学校に関するアンケートを実施し、その報告がありました。内容は、黒須田小区域内の保護者の約7割がA案(黒須田小は「あざみ野中」)を、あざみ野第二小区域内の保護者の約8割がB案(黒須田小は「すすき野中」)を支持し、全体では、A案52%、B案39%という結果でした。

なお、各案の支持の主な理由は、次のとおりです。

A案支持の主な理由

- ・友達関係を考えて(新設校設置により離れてしまった友達と再会できる。)
- ・通学区域が無理がない。通学路が安全

B案支持の主な理由

- ・あざみ野中、すすき野中の規模の平準化
- ・すすき野中の方が近く、通学に便利

黒須田小に係る中学校通学区域の追加提案

～ A案・B案に加えてC案・D案・E案を提示～

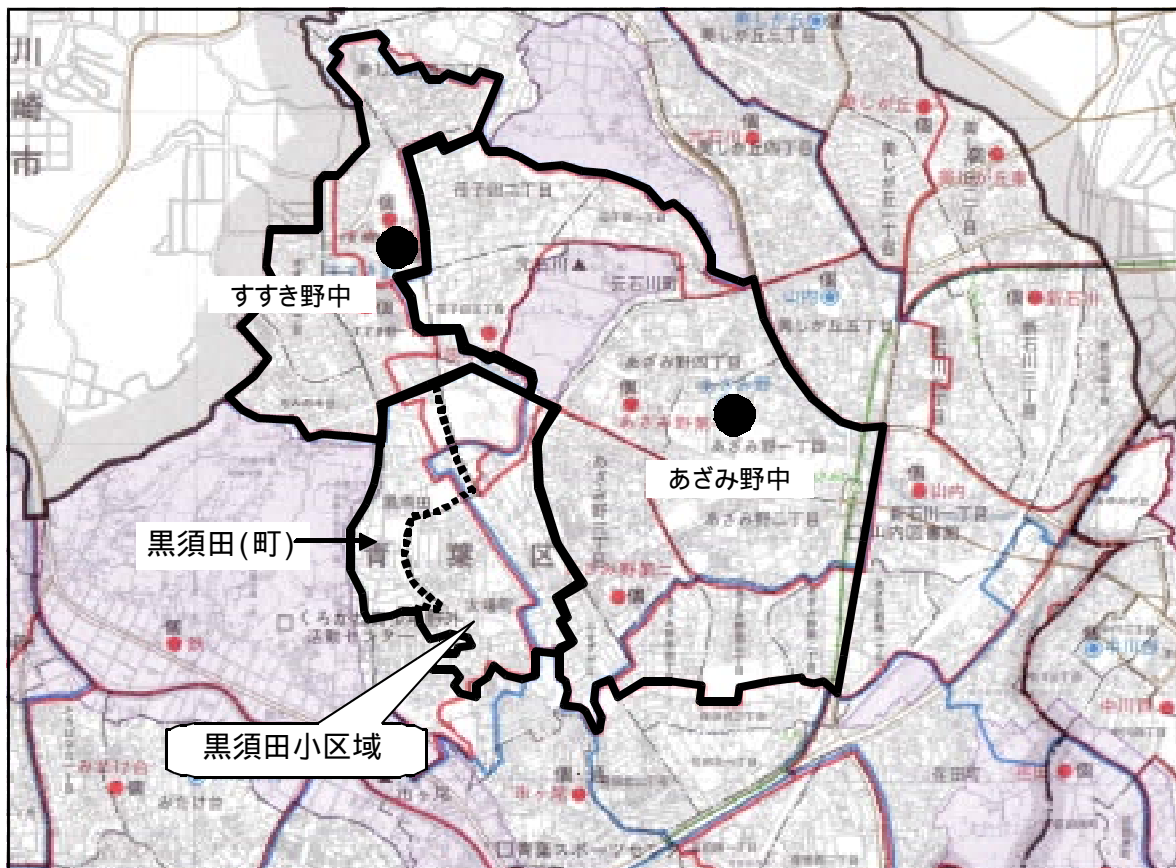
黒須田小に係る中学校の通学区域について、前回の部会で、事務局からA案・B案を提示し、この2案の協議をしましたが、様々な意見が出され、2案だけで議論することは難しいため、今回、新たにC案・D案・E案を事務局から提示しました。(下表参照)

今回の部会では、これらの案について協議しましたが、地元自治会やPTA等の意見を踏まえ、次回再度検討することとなりました。

黒須田小に係る中学校区域案

案	指 定 中 学 校
A 案	黒須田小全域：あざみ野中
B 案	黒須田小全域：すすき野中
C 案	黒須田 (町)：すすき野中 / 大場町 (黒須田小区域内)：あざみ野中
D 案	区域はC案と同じ 黒須田 (町) に特別調整通学区域設定 (あざみ野中に通学可能)
E 案	区域はB案と同じ 黒須田小全域に特別調整通学区域設定 (あざみ野中に通学可能)

黒須田小区域とあざみ野中・すすき野中の配置図



黒須田小に係る中学校通学区域に関する主な意見・質問など

黒須田小は、あざみ野第二小から分離した経緯から、黒須田小の卒業生は、全員あざみ野中へ進学すべきだと思う。

B案（黒須田小は「すすき野中」）は、行政の立場から教育環境等を考慮しての案です。地域の要望については、今後、様々な御意見をいただきたいと思います。

通学区域は、地域の立場で考えなければならないと思う。B案（黒須田小は「すすき野中」）は、通学区域が南北に長くなっているが、すすき野中に隣接する荏子田地区も含めて検討した方が良いのではないかと。

荏子田地区については、別途検討することを考えています。なお、荏子田二丁目・三丁目については、現在、特別調整通学区域になっており、すすき野中も通学できることになっています。

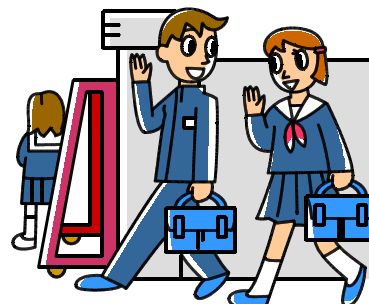
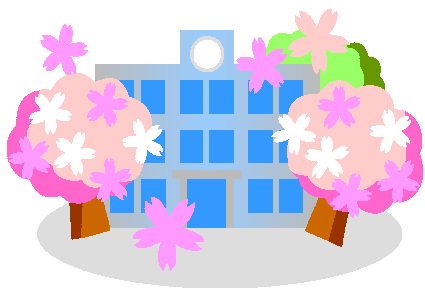
A案（黒須田小は「あざみ野中」）で、荏子田二丁目・三丁目をすすき野中に変更する案はどうか。

そのような御意見があれば、別途検討することも考えます。

通学区域を決めるに当たって最も考慮すべきことは、教育環境の改善だと思うので、生徒数が同規模となるB案（黒須田小は「すすき野中」）が良いと思う。

増加傾向がある現在のあざみ野中を見ていると、良い環境とは思えない。子どもたちに良い環境を与えたいと思うので、B案（黒須田小は「すすき野中」）がいいと思う。

今回、せっかく通学区域を調整するのに、あえて大規模の学校と小規模の学校をつくる必要はないと思う。両校が適正規模になるB案（黒須田小は「すすき野中」）をすすめたい。



大場町は「もえぎ野中への変更」を了承

荏田北は特別調整通学区域設定を含め再提案

～市ヶ尾小区域と中学校の関係見直しに関して～

市ヶ尾小の指定中学校は、現在、4中学校に分かれているため、山内中・みたけ台中に進学することになる大場町・荏田北をもえぎ野中に変更することを前回の部会で事務局から提案しました。

この提案については、荏田北の通学区域変更が伴うため、地元の荏田北二丁目自治会・荏田小黒自治会の代表の方に今回から第三部会に加わっていただき、話し合いました。

その結果、大場町の「みたけ台中からもえぎ野中への変更」については、第一・第二合同部会において、異論なく了承されましたが、荏田北の「山内中からもえぎ野中への変更」については、地元自治会の了承を得るに至らず、もえぎ野中と山内中を選択できる特別調整通学区域の設定を含む再提案を行い、引き続き検討することとなりました。

市ヶ尾小に係る中学校通学区域に関する主な意見・質問など

保護者の意見は、今回の通学区域の変更案にはおおむね賛成であった。また、「最終的には、全員同じ中学校に進学できるのがいい」、「選べるようにしたらどうか」などの意見もあった。

自治会の中からは、中学校を選べるようにしてほしいという意見が多かった。そもそも通学区域の中心に学校が設置されていないのが問題の発端だと思う。生徒のことを一番に考えてほしい。

荏田北地区は、街づくり協定により、今後、集合住宅が建たないことが想定され、学校用地が余ることが予想されるが、余った学校用地はどうするのか。教育委員会で利用方法を考えるのではなく、地元と協議することを約束してほしい。

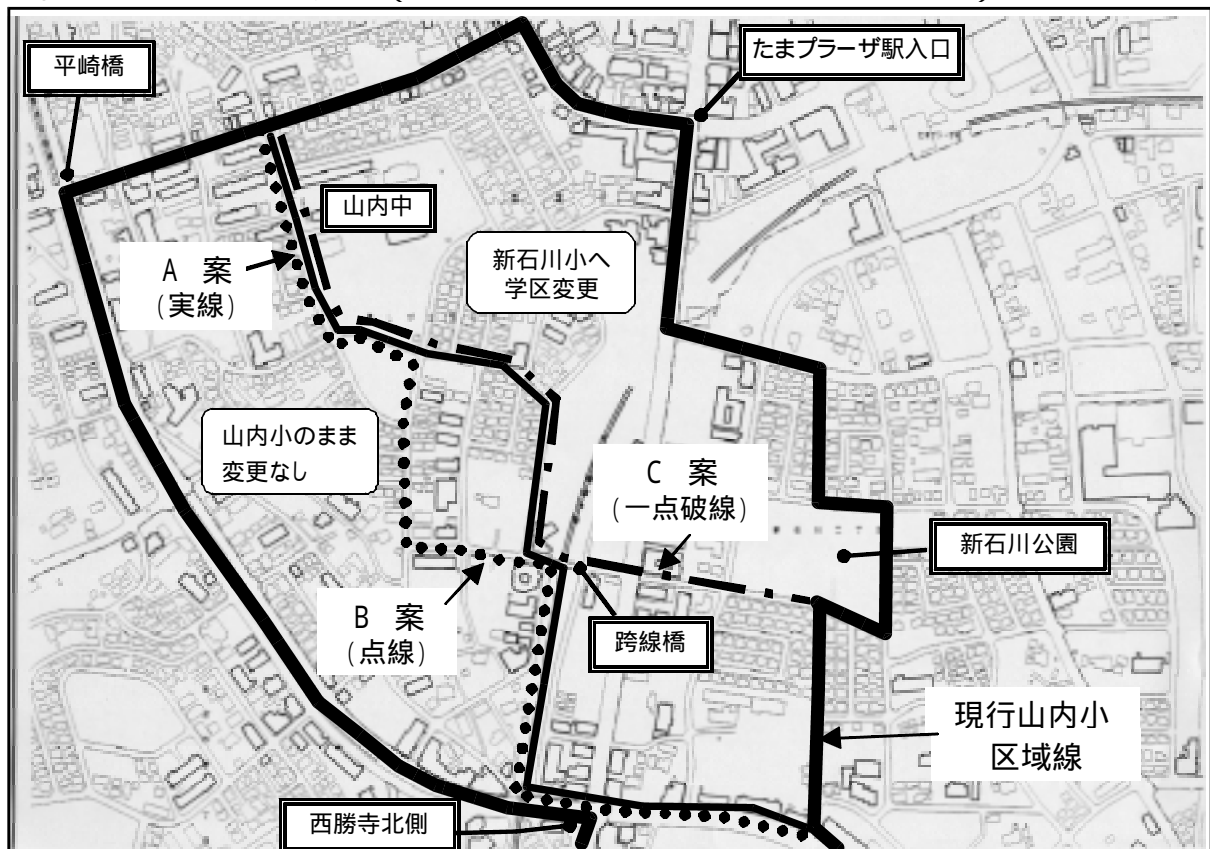
青葉区においても将来的には子ども数の減少することが予想されるため、どこかで学校予定地の要・不要を見極める必要があると思います。その際には、教育委員会だけでなく、市全体で利用方法を検討し、地域の方々の御意見を聞きながら判断していくことになると思います。

山内小通学区域の新たな3案を検討

前回までの提案は、美しが丘五丁目及び新石川二丁目の一部について、1月に行ったアンケート結果に基づき特別調整通学区域を設定するという内容でした。その後、地域やPTAからいただいた御意見を踏まえ、特別調整通学区域の設定ではなく、通学区域変更の3案を事務局から改めて提示しました。

今回の3案については、地元自治会やPTA等で検討していただき、今後協議することとなりました。

山内小の通学区域変更案（美しが丘五丁目・新石川二丁目の一部）



3案の山内小・新石川小の推計（概算）

		平成19年		平成22年	
		学級数	児童数	学級数	児童数
A案	山内小	26	911	23	767
	新石川小	19	681	23	803
B案	山内小	26	905	22	753
	新石川小	19	690	23	821
C案	山内小	28	940	25	831
	新石川小	18	647	22	716

< 保有教室 >

山内小：普通教室 = 23 + 4（仮設） 個別支援教室 = 3 特別教室 = 6
 新石川小：普通教室 = 18（増築検討中） 個別支援教室 = 3 特別教室 = 6

山内小の通学区域に関する主な意見・質問など

新石川からたまプラーザへ行く大きい道路（新横浜元石川線）があり、それを横切る道路（跨線橋に通じる道路）を境に下の地域の子供も新石川小へ行くには坂を上がらなければならない。そこで、C案をすすめたいと思うが山内小のプレハブが解消できるかどうか。

推計をみると、C案は、平成22年度で25学級となる見込みですのでプレハブは撤去できないと思われま

す。自治会を2つの小学校に分けることはいろいろ問題がある。山内小の施設の改善を前提に通学区域を暫定的に変更するのであれば反対はしないが、長い間そのままでは自治会としては困る。また、山内小の施設そのものを改築することはできないか。

山内小の増・改築について、建築局の見解は、近隣の関係もあるので難しいと考えています。仮に増築等をする予定で、これから地元と調整に入っても実際に建つまでに何年かかるか分からないので、できるだけ短期間に課題を解決するために通学区域の変更を提案するものです。

当初は、特別調整通学区域の設定に賛成する保護者は多いと思っていたが、子どもの安全を考え、地域のまとまりを大事にしたいということから、意外にも通学区域を決めてもらった方がいいという意見が多数であった。「山内」という地域のまとまりを考慮して通学区域を決めていただきたいと思

う。山内小の大規模化を解消することが、一番にやるべきことだと思う。長期間プレハブが残ることは好ましくないので、是非、山内小の子ども達のことを考えて検討してほしい。

山内小に関する経過措置を確認

あざみ野第二小区域となるあざみ野南二丁目・三丁目・四丁目、通学区域変更後に山内小を希望した児童については、山内中に進学できる経過措置を設けることを確認しました。

ホームページのご案内

青葉区黒須田地区等通学区域調整等委員会
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/chousei/index.html>

横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化と通学区域制度の見直し
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

横浜市教育委員会
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/index.html>